

# 市営西ヶ丘団地住宅3号棟外壁改修工事

## 設計図面リスト

【3号棟】		建築意匠	
図面番号	図面名	縮尺	
		A1	A3
A-01	改修工事特記仕様書-1	-	-
A-02	改修工事特記仕様書-2	-	-
A-03	改修工事特記仕様書-3	-	-
A-04	改修工事特記仕様書-4	-	-
A-05	改修工事特記仕様書-5	-	-
A-06	配置図・付近見取り図	1:300	1:600
A-07	1階平面図・2階平面図	1:100	1:200
A-08	3階平面図・4階平面図	1:100	1:200
A-09	立面図	1:100	1:200
A-10	外部仕上表・断面詳細図	1:30	1:60
A-11	バルコニー手摺改修詳細図	1:30,1:10	1:60,1:20
A-12	雑詳細図	1:30,1:10	1:60,1:20
A-13	仮設計画図	1:200,1:50	1:400,1:100

工事名 市営西ヶ丘団地住宅3号棟外壁 改修工事 特記仕様書

1. 工事概要
1. 工事場所 宮西市西ヶ丘2丁目地内 (用途地域第一種中高層住居専用地域)
2. 敷地面積 7355.63㎡
3. 工事種別 改修
4. 工事規模 RC造 4階建 共同住宅 延床面積 1608.00㎡ 1棟
5. 工事範囲 屋根及び1号改修工事 1式
外壁改修工事 1式
防水改修工事 1式
塗装改修工事 1式
バルコニー手摺改修工事 1式

II. 改修工事仕様
1. 共通仕様
図面、特記仕様書及び現場説明事項に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)(最新版)」(以下「改修仕様」という。)による。
ただし、改修仕様中に規定されている項目以外は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)(最新版)」(以下「標準仕様書」という。)による。
2. 特記仕様
(1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
(2) 特記仕様は、◎印の付いたものを適用する。
◎印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
◎印と◎印の付いた場合は、共に適用する。
(3) 特記仕様中に記載の [ ] 内表示番号は、改修仕様の当該項目、当該図又は当該表を示す。
( ) 内表示番号は、標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。
(4) [G]印は、「国等による環境物品等の調達推進等に関する法律」(平成12年法律第100号)に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針(平成31年2月変更閣議決定)」に定める判断の基準を満たす物品を示す。

表形式の特記仕様書
項目: 1. 適用基準, 2. 工事実績情報の登録(工事カルテ), 3. 発生材の処理等, 4. 現場技術員等, 5. 電気保安技術者, 6. 技能士, 7. 施工条件, 8. 建築材料等, 9. 特別な材料の工法
内容: 図面、本特記仕様書、標準仕様書及び改修標準仕様書に記載のない事項は次の基準による。
① 建築物解体工事共通仕様書(最新版) 国土交通省大臣官房官庁営繕部
本設計図書における「標準詳細図」他は、次の基準を指す。(最新版)
建築工事標準仕様書(最新版) 国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課
② 適用する [1.1.4]
引渡しを要するもの ※なし
あり(種類: 処理方法: )
特別管理産業廃棄物 ※なし
あり( )
※上記以外の発生材は、可能な限り中間処理施設等において再利用・減量化等を図るものとし、処理方法等は監督員と協議する。
現場において再利用を図るもの( )
※現場における分別・保存材は、分別する。
④ 現場には下記の現場技術員等を置く。 [1.3.2]
○管理技術者又は主任技術者: 建設業法第26条による有資格者を専任又は常駐させること。
○現場技術員: 適正な技術員を専任又は常駐させること。
⑤ 適用する [1.3.3]
技術検定の職種 作業の種別
仮設工事 (○とび) ○全て
鉄筋工事 (・鉄筋施工) ・全て
コンクリート工事 (・左官・型枠施工) ・全て
鉄骨工事 (・とび) ・全て
ブロック・ALCパネル工事・PCカーテンウォール工事 (・ブロック建築・ALCパネル施工・PCカーテンウォール施工) ・全て
防水工事 (・防水施工) ・全て
石工事 (・石材施工) ・全て
タイル工事 (・タイル張り) ・全て
木工事 (・建築大工) ・全て
屋根・とい工事 (・建築板金・スレート施工) ・全て
金属工事 (・内装仕上げ施工(鋼製下地)) ・全て
左官工事 (○左官) ○全て
建具工事 (・サッシ施工・ガラス施工) ・全て
塗装工事 (○塗装・樹脂接着材注入施工) ○全て
内装工事 (・内装仕上げ施工(床、天井仕上げ等)・表装) ・全て
植栽工事 (・造園) ・全て
7. 施工条件
施工順序に制約がある場合
○同一敷地内で行っている太陽光発電設備設置工事との工程調整を行い、協議のもと、施工順序を決定すること。 [1.3.5]
その他の施工条件
○同一敷地内で4号棟及び集会所の改修工事を行う予定である。入居者の安全には十分配慮した施工とすること。 [1.3.5]
8. 建築材料等
(a) 原則として、全ての材料について監督員の承諾を受ける。 [1.4.1]
(b) 現場への配慮
※改修仕様 1.4.1 による
9. 特別な材料の工法
改修仕様に記載されていない特別な材料の工法は、材料製造所の指定する工法とする。 [1.4.2]

提出書類
1. 提出書類
2. 施工図及び施工計画書
3. 完成図
4. 工事完成写真
14. 設備工事との取合い
15. 施工調査
1. 監督員事務所
2. 監督員事務所
の備品等
5. 工事用水
6. 工事用電力
7. 騒音・粉じん等の対策
8. 足場等
7. 既存部分の養生
9. 防水施工
10. アルミニウム製窓木

請負契約に定められている書類
(契約後)
○ 工事工程表
○ 現場代理人、主任技術者等層
○ 下請調査書
(契約後)
○ 火災保険加入契約書(写)
・ 請負代金内訳書
(工事中)
・ 出来高検査票
(完成後)
○ 工事完成届
○ 工事完成引渡書(引渡図書目録添付)
改修仕様、特記仕様書等に定められている書類
(契約後)
○ 製造所等承諾書
○ 工事総合施工計画書
○ 現場技術員層
○ 各種工事施工計画書
○ 各種工事施工図
○ 工事作業日報
(工事中)
○ 主要資材規格又は品質証明書
○ 各種試験成績書又は報告書
○ 主要資材搬入検査簿
○ 技能士合格証明書
(完成後)
○ 完成図(修正設計図)
○ 責任施工保証書
○ 各種届出書等
・ 官公署許可認可及び検査済書
○ 維持管理取扱書(設備機器説明含む)
施工図及び施工計画書の提出について
(a) 施工図及び施工計画書は、各工程において作成し提出する。
(b) 施工図の記載内容及び記載水準は、建設大臣官房官庁営繕部監修「建築・設備工事施工図の描き方(平成元年)」に準ずるものとする。
(c) 本工事に係る施工図及び施工計画書の著作権の権利は、当該建物における使用に限り発注者に委譲するものとする。
(d) 提出部数は、施工図の原因及びその附属図(1部)とする。ただし、製作図等が原因として提出が出来ないものは、原因に代わるものとしてよい。
・ 提出図書 ※ 監督員の指示による。 [1.8.2]
・ CADデータ ※ 監督員の指示による。
下記ものを監督員に提出する。
区分 分類 規格 撮影箇所数 部数 備考
着工前 ※カラー ※サービスタブ 監督員の指示による。 監督員の指示による。
工事施工状況 ※カラー ※サービスタブ (撮影計画を完成時 ※カラー ○サービスタブ 提出する)
施工範囲
・ 図示した貫通孔、開口部の型枠及びそれらの補強
・ 図示した壁、天井の仕上材、下地材の切り込み及び下地材の補強
・ 駆動装置が電動による建具類の2次配線及び操作スイッチ
・ 自動閉鎖装置取付けの箇所の切り込み及び補強
施工図
・ 設備機器の位置、取合い等が検討できる施工図を提出して、監督員の承諾を受ける。
施工数量調査 [1.5.2]
調査範囲 ○ 図示
調査方法 ○ 目視、打診
既存部分の破壊を行った場合の補修方法 [1.5.3]
・ 図示
1. 監督員事務所 [2.4.1]
・ 設ける
(規模及び仕上げの程度並びに設置する備品の種類・数量等は現場説明書による)
○ 設けない
2. 監督員事務所
の備品等 [2.4.1]
備品の種類 数量 備品の種類 数量 備品の種類 数量
机・椅子 組 両合羽 着 コピー機 台
書棚 台 懐中電灯 個 最高最低温度計 個
ゴム長靴 足 衣類ロッカー 人用 冷暖房機 台
工事用ヘルメット 個 湯沸器 台 消火器 個
黒板又はホワイトボード 個 パソコン(メール付) 台 掃除機 個
電話(・FAX付) 台
構内既存の施設
・ 利用できる(・有償・無償) ○ 利用できない
○ 利用できない
構内既存の施設
・ 利用できる(・有償・無償) ○ 利用できない
○ 利用できない [2.1.3]
1. 防音パネル
2. 防音シート
防音パネル等を取り付ける足場等の設置範囲 ※ 図示 [2.2.1][表2.2.1]
内部足場・設置する(※脚立・足場板等)
・ 設置しない
外部足場
○ 設置しない(・枠組足場・単管足場)
※ 既存足場を利用し、維持管理については受注者で行うこと。
防護シートによる養生 ○ 行う(・工事に必要な範囲)
材料、撤去材等の運搬方法
種類・A種・B種・C種 ○ D種・E種
C種: 利用可能なエレベーター( )
D種: 利用可能な階段( )
・ 「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり設置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。 [2.3.1]
養生の方法等 [2.3.1]
○ 既存部分
・ 既存家具、既存設備等 養生の方法(※ビニルシート等)
・ 既存プラインド、カーテン等 養生の方法(・ビニルシート等)
・ 保管場所(・図示・監督員の指示による)
・ 備品、机、ロッカー等の移動(・図示)
既存部分に汚染又は損傷を与えるおそれのある場合は養生を行う。また、万一損傷等を与えた場合は、受注者の責任において速やかに修復等の処置を行う。
仮設間仕切り及び仮設扉の設置箇所 ・ 図示 [2.3.2]
仮設間仕切りの種別と材質等 [表2.3.1]
種別 下地 仕上材(厚さmm) 塗装 充填
・ A種 ・ 木 ・ セッコウボード(9.5mm) ・ 無し グラスウール 厚さ mm
・ B種 ※ 軽量鉄骨 ・ 合板(9mm) ・ 片面
※ C種 単管 防火シート
仮設間仕切りに設ける仮設扉の材質等
材質 仕上げ 塗装 備考
※ 木製 ※ 合板張り程度 ・ 無し ・ 片面

1. 施工数量調査
2. 改修用二重ドレン
3. 既存防水の処理
4. アスファルト防水
調査範囲及び方法 ○ 図示 [1.5.2~3]
既存部分の破壊を行った場合の補修方法 ・ 図示
調査報告書 提出部数: 2部
改修用二重ドレン
・ 設ける(POAS、POASI、POD、PODI、POS、POSI、POX工法の場合) [3.2.5]
3. 既存防水の処理
既存保護層の撤去 ・ 行う(範囲・図示) [3.2.3~6]
・ 行わない
既存防水層の撤去 ・ 行う(範囲・図示)
・ 行わない
既存露出防水層表面の仕上げ塗膜撤去
・ 行う(・M4AS・M4AS1・M4C・M4D1・L4X)
・ 行わない
既存防水層の地下補修
既存下地の補修箇所の形状、長さ、数量等 ・ 図示
POS工法及びPOSI工法(機械式固定方法)の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした立上り部の処置 ※ 改修標準仕様書3.2.4(ウ)g)~g)による
[3.3.2~5][表3.3.3~10]
屋根保護防水
防水層の種類
工法 種別 施工箇所 断熱材[G] 絶縁用シート 立上り部の保護
・ P2A ・ A-1
・ A-2
・ A-3
※ D1/D2/D4A 厚さ0.15mm以上
・ 乾式保護材(※ 図示)
・ コンクリート押え
・ りんが押え(※ JIS R 1250)
(材質) ※ JIS A 9521による押出ポリスチレンフォーム断熱材3種 bA(スチレン層あり)
※ フラットヤーンクロス 70g/mf程度
(厚さ) ・ 25mm ・ 50mm
改質アスファルトルーフィングシート及び部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※ 改修標準仕様書表3.3.3から表3.3.9による
平場の保護コンクリートの厚さ
こて仕上げ ※ 水下 80mm以上
タイル張り ※ 水下 60mm以上
・ 乾式保護材
・ 産業系パネル: 無石綿の繊維質原料等を主原料として板状に押出成形し、オートクレーブ養生したもの。
・ 産業系パネルⅠ類(寒冷地仕様)
・ 産業系パネルⅡ類(一般地仕様)
・ 金属複合板: 金属板と樹脂を一体化させたもの。
表面材は不燃 耐衝撃性500g
屋根露出防水
防水層の種類
工法 種別 施工箇所 断熱材[G] 高日射反射率防水の適用[G] 備考
・ M4C ・ C-1
・ C-2
・ C-3
・ C-4
・ M3D
・ POD
・ D-1
・ D-2
・ D-3
・ D-4
(材質) ※ JIS A 9521による発泡プラスチック断熱材とする。ただし、硬質ウレタンフォーム断熱材(種別1号又は2号で透湿係数を除くJIS規格に準ずるもの。(種別) ※ 図示
(厚さ) ・ 25mm
仕上塗装の種類及び使用量
※ アスファルトルーフィング製造所の指定による
脱気装置の種類及び設置数量
※ アスファルトルーフィング製造所の指定による
屋根露出防水絶縁断熱工法の場合の、ルーフトレイン回り及び立上り部周辺の断熱材の張り付け位置
※ 図示
屋内防水
防水層の種類 [表3.3.1、表3.3.10]
工法 種別 施工箇所 保護層
・ PIE ・ E-1
・ P2E ・ E-2
・ 設ける
・ 設けない
押さえ金物の材質、形状寸法
※ アルミニウム製、L-30×15×2.0mm程度
屋上排水溝 ・ 適用する(施工範囲・図示)
・ 適用しない
[3.4.2~3][表3.4.1~3]
防水層の種類
工法 種別 施工箇所 断熱材[G] 高日射反射率防水の適用[G] 備考
・ M4AS ・ AS-T1
・ AS-T2
・ AS-J2
・ M3AS
・ AS-T3
・ AS-T4
・ AS-J1
・ AS-J3
(材質) ※ JIS A 9521による発泡プラスチック断熱材とする。ただし、硬質ウレタンフォーム断熱材(種別1号又は2号で透湿係数を除くJIS規格に準ずるもの。(厚さ) ・ 25mm ・ 50mm
仕上塗装の種類及び使用量
※ 改質アスファルトシートの製造所の指定による
脱気装置の種類及び設置数量
※ 改質アスファルトシートの製造所の指定による
部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※ 改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による
屋根露出防水絶縁断熱工法の防湿用シート ・ 設置する
・ 設置しない
押さえ金物の材質、形状寸法 ※ アルミニウム製、L-30×15×2.0mm程度

6. 合成高分子系ルーフィングシート防水
防水層の種類 [3.5.2~4][表3.5.1~3]
工法 種別 施工箇所 断熱材[G] 仕上塗料 高日射反射率防水の適用[G] 備考
・ POS
・ S4S ・ S-F1
・ S-F2
・ S-M1
・ S-M2
・ S-M3
・ 製造所の仕様による
・ 製造所の仕様による
脱気装置 ・ 設ける
・ 設けない
改修用ドレン ・ 設ける
・ 設けない
・ S3S ・ S-F1
・ S-F2
・ PC2P+I下地
・ 製造所の仕様による
・ 製造所の仕様による
脱気装置 ・ 設ける
・ 設けない
改修用ドレン ・ 設ける
・ 設けない
・ M4S ・ S-M1
・ S-M2
・ S-M3
・ 製造所の仕様による
脱気装置 ・ 設ける
・ 設けない
改修用ドレン ・ 設ける
・ 設けない
・ POS1
・ S3S1
・ S4S1
・ M4S1 ・ S1-F1
・ S1-F2
※ 改修標準仕様書表3.2.2(ウ)g)~g)による
(厚さ) ・ 25mm ・ 50mm
・ 製造所の仕様による
・ 製造所の仕様による
脱気装置 ・ 設ける
・ 設けない
改修用ドレン ・ 設ける
・ 設けない
屋内防水 防水層の種類
PIS工法の種類 施工箇所
種別 断熱材[G] 仕上塗料 高日射反射率防水の適用[G] 備考
・ S-C1 ・ 平場のモルタル塗り
・ 立上り部の保護モルタル塗り
※ 7mm以下
・ 床塗り工法
・ 下地モルタル塗り
※ 改修標準仕様書表3.6.1(イ)及び(ウ)に準ずる
6.15.6(2)(イ)及び(ウ)に準ずる
6.15.6(2)(イ)及び(ウ)に準ずる
絶縁用シートの材質 ※ 発泡ポリエチレンシート
脱気装置の種類及び設置数量 ※ ルーフィングシート製造所の指定による
接着工法のPCCコンクリート下地の目地処理 ・ 行う(・図示) ・ 行わない
PCCコンクリート部材の入隅部の増張り ・ 行う(・図示) ・ 行わない
PCCコンクリート部材(種別S-F1、S1-F1の場合)の入隅部の増張り ・ 行う(※ 図示) ・ 行わない
機械式固定工法の場合の一般部のルーフィング材の張付けは、建築基準法による風圧力の(・1.0・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法とする [3.6.2~3][表3.6.1~2]
工法 種別 施工箇所 断熱材[G] 仕上塗料 高日射反射率防水の適用[G] 備考
・ POX ※ X-1
・ X-2
・ 製造所の仕様による
・ 製造所の仕様による
脱気装置 ・ 設ける
・ 設けない
改修用ドレン ・ 設ける
・ 設けない
・ L4X ・ X-1
※ X-2
・ 製造所の仕様による
・ 製造所の仕様による
脱気装置 ・ 設ける
・ 設けない
改修用ドレン ・ 設ける
・ 設けない
※ 設置/1は塗膜の上再使用とする
・ PY1 ※ Y-2
・ PY2
脱気装置の種類及び設置数量 ※ 主材料製造所の仕様による
・ 設置数量: 個/mf
脱気装置の種類:
・ シーリング [3.1.4][3.7.2~8][表3.7.1]
シーリング改修工法の種類
・ シーリング充填工法
・ シーリング再充填工法
・ 拡幅シーリング再充填工法
・ ブリッジ工法
ボンドブレイカー張り ・ 適用する
・ 適用しない
エッジング材張り ・ 適用する
・ 適用しない
シーリング材の種類、施工箇所
下表以外は、改修仕様表3.7.1による。
施工箇所 シーリング材の種類(記号)
建具廻り、屋根鋼板端部 MS-2
塗膜防水端部、打継目地 PU-2
シーリング材の目地寸法
※ 改修標準仕様書表3.7.3(1)(ア)~(ウ)による。
・ 図示
シーリング材の接着性試験
・ 適用する [※ 簡易接着性試験・引張接着性試験(部位)]
・ 適用しない
[3.8.2~3][表3.8.1~4]
といの材質
・ 配管用銅管
・ 硬質ポリ塩化ビニル管
・ カラーVP
・ カラー鋼板
ルーフトレイン
種別 材種 張掛け幅
・ ろく屋覆用(・縦型・横型) ・ 100mm以上
・ 50mm以上
・ バルコニー用 ・ 100mm以上
・ 50mm以上
・ バルコニー中継用 ・ 100mm以上
・ 50mm以上
耐酸被覆鋼板 製造所:
多雪地域との取付け間隔 ・ 適用する
・ 適用しない
鋼管製といの防露巻き
※ 行う(施工箇所※改修標準仕様書表3.8.3による)
防露材のホルムアルデヒド放散量 ※ 規制対象外
既存のといその他の撤去及び降雨等に対する養生方法 ※ 図示
堅壁受け金物の取付け ※ 図示
ルーフトレインの取付け
※ 水はけよく、床面より下げ、周囲の隙間にモルタル充填
(モルタルの割合は、容積比でセメント1:砂3)
[3.9.2~3][表3.9.1]
部材の種類
○ オープン形式 (○ 押出し 250形 ・ 押出し 300形 ・ 押出し 350形)
・ 板材折り曲げ形 (・ オープン形式 ・ シール形式)
本体幅 ( ) mm 板厚 (※ 2.0 ) mm
表面処理
種別(改修標準仕様書表5.2.2より) ・ 種
着色 ・ 標準色 ( ) ・ 特注色 ( )
既存窓木等の撤去 ○ 行う(範囲・図示 ○ モルタル窓木)
・ 行わない
地下補修の工法 ※ 図示
板材折り曲げ形窓木の取付方法
※ 図示
窓木の固定金員の工法
・ 適用する(建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1.0・1.15・1.3)倍に対応した工法とする)
○ 提出する(10年)
・ 提出しない
10. 防水施工 保証書

市営西ヶ丘団地住宅3号棟外壁改修工事
管理建築士 承認 検図 製図 改定番号 改定月日 改定内容
設計担当者
特記
図面内容
【3号棟】改修工事特記仕様書-1
縮尺 A1 A3
業務番号 2222121
図面区分 建築意匠
図面番号 A-13 枚の内 01

4 外壁改修工事

Table with 2 columns: ④ 外壁改修工事 and ⑤ 調査範囲. Includes sections for ① 施工数量調査 and ② 欠損部改修工法. Details inspection methods and repair techniques for exterior walls.

Table with 2 columns: ④ 外壁改修工事 and ⑤ 調査範囲. Includes sections for ③ タイル張り仕上げ外壁 and ④ 欠損部改修工法. Details tile application and repair methods.

5 外壁改修工事

Table with 2 columns: 5 外壁改修工事 and ⑤ 調査範囲. Includes sections for ① 目地改修工法 and ② タイルの形状、寸法等. Details joint repair and tile specifications.

Table with 2 columns: 5 外壁改修工事 and ⑤ 調査範囲. Includes sections for ③ 既存塗膜等の除去 and ④ 下地調整材. Details removal of existing coatings and substrate preparation.

6 外壁改修工事

Table with 2 columns: 6 外壁改修工事 and ⑤ 調査範囲. Includes sections for ① 樹脂注入工法 and ② 欠損部改修工法. Details resin injection and repair methods.

Table with 2 columns: 6 外壁改修工事 and ⑤ 調査範囲. Includes sections for ③ タイル部分張替え工法 and ④ 欠損部改修工法. Details tile replacement and repair methods.

7 外壁改修工事

Table with 2 columns: 7 外壁改修工事 and ⑤ 調査範囲. Includes sections for ① 目地改修工法 and ② タイルの形状、寸法等. Details joint repair and tile specifications.

Table with 2 columns: 7 外壁改修工事 and ⑤ 調査範囲. Includes sections for ③ 既存塗膜等の除去 and ④ 下地調整材. Details removal of existing coatings and substrate preparation.

Project information form including: 市営西ヶ丘団地住宅3号棟外壁改修工事, 管理建築士, 承認, 検閲, 製図, 改定番号, 改定月日, 改定内容, 特記, 図面内容, 縮尺, 業務番号, 図面区分, 図面番号.

5-2	8. 鋼製軽量建具	性能等級 [5.2.2][5.5.2~4]	5-3	16. ガラス
		簡易気密型ドアセット ・適用する (建具符号: ・建具表による) ・適用しない 防音ドアセット、防音サッシ 遮音性の等級 ( ) (建具符号: ・建具表による) ・適用しない 断熱ドアセット、断熱サッシ [G] 断熱性の等級 ( ) (建具符号: ・建具表による) ・適用しない 耐震ドアセット 面内変形追随性の等級 ( ) (建具符号: ・建具表による) ・適用しない 鋼板 ・垂鉛めつき鋼板 ・ビニル被覆鋼板 ・カラー鋼板 ・ステンレス鋼板 鋼板の厚さ ・ 改修標準仕様書表5.5.11による 召合せ、縦小口包み板の材質 ※鋼板 ・ステンレス鋼板 ・アルミニウム合金の押出成形材 (建具符号: ・建具表による) ・適用しない		
9	ステンレス製建具	性能等級 [5.2.2][5.4.2][5.6.2~5]	5-3	16. ガラス
		簡易気密型ドアセット ・適用する (建具符号: ・建具表による) ・適用しない 外部に面する建具の耐風圧性 ・S-4 (建具符号: ・建具表による) ・S-5 (建具符号: ・建具表による) ・S-6 (建具符号: ・建具表による) ・適用しない 防音ドアセット、防音サッシ 遮音性の等級 ( ) (建具符号: ・建具表による) ・適用しない 断熱ドアセット、断熱サッシ [G] 断熱性の等級 ( ) (建具符号: ・建具表による) ・適用しない 耐震ドアセット 面内変形追随性の等級 ( ) (建具符号: ・建具表による) ・適用しない ステンレス鋼板 ※SUS 304 ・ SUS 430J1L ・ SUS 443 J1 表面仕上げ ※ HL仕上げ ・鏡面仕上げ 曲げ加工 ※ 普通曲げ ・ 角出し曲げ		
10	建具用金物	金物の種類及び見え掛りの材質等 [5.7.2~4] ※ 改修標準仕様書表5.7.1及び表5.7.2による 樹脂製建具に使用する丁番 ※改修標準仕様書表5.7.3による 握り玉、レバーハンドル、押板類、クレスト等の取付け位置 ・建具表による マスターキーの製作 ・製作する ・製作しない 既製のマスターキーに合わせる その他の鍵 ※各室3本1組 鍵箱 ・有り ・無し	5-3	16. ガラス
		ガラス留め材及び溝の大きさ 建具の種類 ガラス留め材 ガラス溝の大きさ(mm) アルミニウム製 ・シーリング材 ・ガスケット ・グレイジングチャンネル形 ※建具製造所の仕様による ・図示 鋼製及び鋼製軽量 ・シーリング材 ※建具製造所の仕様による ・図示 ステンレス製 ・シーリング材 ※建具製造所の仕様による ・図示		
11	自動ドア開閉装置	自動ドア [5.8.2~3] 開閉装置の性能 防錆 センサーの種類 凍結防止 ・SSLD-1 ※改修標準仕様書表5.8.1による ・SSLD-2 ・DSL-1 ・DSL-2 ・図示 閉鎖 耐風圧強度 ( ) N/m <sup>2</sup> ・管理用シャッター ・外壁用防火シャッター ・屋内用防火シャッター ・防煙シャッター センサーの種類 ・光線(反射)センサー ・熱線センサー ・音波センサー ・電波センサー ・タッチスイッチ ・押しボタンスイッチ ・多機能トイスイッチ 凍結防止装置 ・適用する ・適用しない	5-3	16. ガラス
		ガラス留め材及び溝の大きさ 建具の種類 ガラス留め材 ガラス溝の大きさ(mm) アルミニウム製 ・シーリング材 ・ガスケット ・グレイジングチャンネル形 ※建具製造所の仕様による ・図示 鋼製及び鋼製軽量 ・シーリング材 ※建具製造所の仕様による ・図示 ステンレス製 ・シーリング材 ※建具製造所の仕様による ・図示		
12	自閉式上吊り引戸装置	自閉式上吊り引戸装置の性能値 [5.9.3] ※ 改修標準仕様書表5.9.1による	5-3	16. ガラス
		ガラス留め材及び溝の大きさ 建具の種類 ガラス留め材 ガラス溝の大きさ(mm) アルミニウム製 ・シーリング材 ・ガスケット ・グレイジングチャンネル形 ※建具製造所の仕様による ・図示 鋼製及び鋼製軽量 ・シーリング材 ※建具製造所の仕様による ・図示 ステンレス製 ・シーリング材 ※建具製造所の仕様による ・図示		
13	重量シャッター	シャッターの種類 [5.10.2~3] ・管理用シャッター 耐風圧強度 ( ) N/m <sup>2</sup> ・外壁用防火シャッター 耐風圧強度 ( ) N/m <sup>2</sup> ・屋内用防火シャッター ・防煙シャッター 開閉方式の種類 ※ 上部電動式(手動併用) ・ 上部手動式 二重フィン、急降下制動装置、急降下停止装置を設けた電動シャッター ※図示 障害物感知装置を設けた電動シャッター ※図示 屋内防火シャッター若しくは防煙シャッターの急降下止機構 ・設ける ※障害物感知装置(自動閉鎖型) ・可動扉板式 ・設けない 管理用シャッターのシャッターケース ・設ける ・設けない スラット及びシャッターケース用鋼板 鋼板の種類 ・ JIS G 3302(溶融亜鉛めつき鋼板) ・ JIS G 3312(塗装溶融亜鉛めつき鋼板) めっきの付着量 ※Z12又はF12 ガイドレール、まぐさ、雨掛りに用いる座板及び座板のカバー、雨掛りに用いるスイッチボックス類の蓋の材質 ・ステンレス鋼板	5-3	16. ガラス
		ガラス留め材及び溝の大きさ 建具の種類 ガラス留め材 ガラス溝の大きさ(mm) アルミニウム製 ・シーリング材 ・ガスケット ・グレイジングチャンネル形 ※建具製造所の仕様による ・図示 鋼製及び鋼製軽量 ・シーリング材 ※建具製造所の仕様による ・図示 ステンレス製 ・シーリング材 ※建具製造所の仕様による ・図示		
14	軽量シャッター	閉鎖形式 ※ 手動式 ・ 上部電動式(手動併用) 耐風圧強度 ( ) N/m <sup>2</sup> スラットの材質 ・ JIS G 3312(塗装溶融亜鉛めつき鋼板) めっきの付着量 ※ Z06又はF06 ・ JIS G 3322(塗装溶融55%Zn-94-亜鉛合金めつき鋼板) めっきの付着量 ※ A290 スラットの形状 ・インターロッキング形 ・オーバーラッピング形 障害物感知装置を設けた電動シャッター ※図示	5-3	16. ガラス
		ガラス留め材及び溝の大きさ 建具の種類 ガラス留め材 ガラス溝の大きさ(mm) アルミニウム製 ・シーリング材 ・ガスケット ・グレイジングチャンネル形 ※建具製造所の仕様による ・図示 鋼製及び鋼製軽量 ・シーリング材 ※建具製造所の仕様による ・図示 ステンレス製 ・シーリング材 ※建具製造所の仕様による ・図示		
15	オーバーヘッドドア	セクション材料による区分 耐風圧区分(Pa) 開閉方式による区分 収納形式による区分 ガイドレールの材質 [5.12.2~3] ※ スチールタイプ ・1250 ・アルミニウムタイプ ・1000 ・ファイバークラスタイプ ・750 ・500 ※ バランスタイプ ・スタンダード形 ・チエーン式 ・電動式 ※ 溶融亜鉛めつき鋼板 ※ ステンレス鋼板 (SUS304 SUS430J1L SUS443J1) ※ ガイドレール ※ パーチカル形 障害物感知装置を設けた電動タイプ ※図示	5-3	16. ガラス
		ガラス留め材及び溝の大きさ 建具の種類 ガラス留め材 ガラス溝の大きさ(mm) アルミニウム製 ・シーリング材 ・ガスケット ・グレイジングチャンネル形 ※建具製造所の仕様による ・図示 鋼製及び鋼製軽量 ・シーリング材 ※建具製造所の仕様による ・図示 ステンレス製 ・シーリング材 ※建具製造所の仕様による ・図示		

[3.7.2][5.13.2~4][表5.13.1]	
・特記仕様書に無き種類・品質・厚さ等は図示 (建具表) による ・真空ガラス ※品質、厚さは建具表による ・型板ガラス ※品種、厚さは建具表による ・網入板ガラス及び網入板ガラス 品質、厚さ及び網又は線の形状 ※建具表による ・合わせガラス	
品種 構成種類 球面型はく離特性、ショットバック衝撃特性	※建具表による ・I類 ・II-1類 ・II-2類 ・III類
強化ガラス	
材料板ガラスによる種類 種類 破片の状況及びショットバック衝撃特性	・フロートガラス ・フロート強化ガラス ・熱線吸収強化ガラス ・I類 ・II類 ・III類
型板ガラス	型板強化ガラス
熱線吸収板ガラス	
品種 性能 色調	・ブルー ・グレー ・ブロンズ
熱線吸収フロート板ガラス	1種 2種
熱線吸収網入型板ガラス	
複層ガラス 板ガラスの種類及び厚さの組合せ、複層ガラスの厚さは建具表による	
品種 断熱性の区分 日射遮蔽性・透へ性による区分 乾燥気体の種類	・空気 ・アルゴン
断熱複層ガラス	T1 ・ T3 ・ T5 T2 ・ T4 ・ T6 ・ G ・ S
日射遮蔽へい複層ガラス	T1 ・ T3 ・ T5 T2 ・ T4 ・ T6 ・ G ・ S
熱線反射板ガラス	
品種 日射遮蔽へい性 耐久性による区分 色調	・ブルー ・グレー ・ブロンズ ・シルバー
熱線反射ガラス	1種 A種
高性能熱線反射ガラス	2種 A種・B種
反射被膜面 内面 外面 映像調整 行う 行わない	
倍強度ガラス	
材料板ガラスによる種類 厚さ(mm) 色調	・グレー ・ブルー ・ブロンズ
フロート倍強度ガラス	
熱線吸収倍強度ガラス	
ガラス留め材及び溝の大きさ	
建具の種類 ガラス留め材 ガラス溝の大きさ(mm)	※建具製造所の仕様による ・図示
アルミニウム製	・シーリング材 ・ガスケット ・グレイジングチャンネル形
鋼製及び鋼製軽量	・シーリング材 ※建具製造所の仕様による ・図示
ステンレス製	・シーリング材 ※建具製造所の仕様による ・図示
表面形状 呼び寸法(mm) 厚さ(mm) 色調 クリヤ 乳白 平積み 曲面積み 目標値(mm) 伸縮調整目地(mm) 防火性能	
正方形	・125×125 ・80 ・160×160 ・95 ・200×200 ・95 ・220×220 ・95 ・250×250 ・80 ・320×320 ・95
長方形	・125×160 ・95
曲面積みの曲率半径は、ガラスブロック幅寸法の10倍以上とする。 壁用金属枠及び補強材 ・設ける (形状 ※図示) ・設けない	
カ骨 材質 ※ステンレス鋼 (SUS304) 寸法 寸法径5.5mm 形状 ※はしご形状筋筋及び単筋	
化粧目地モルタルの色 ( )	
金属製化粧カバー 材質 ・ステンレス製 ・アルミニウム製 寸法 ・図示 形状 ・図示	
シーリング材の種類 ( )	
工法 建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法 目地部のカ骨の補強方法 ※ガラスブロック製造所の仕様による ・図示	
種類 記号 その他の性能等	
日射調整フィルム [G] ・SC-1 ・SC-2	
低放射フィルム ・LE	
衝撃破壊対応ガラス飛散防止フィルム ・GI-1 ・GI-2	
層間変位破壊対応ガラス飛散防止フィルム ・GD-1	
ガラス貫通防止フィルム ・SF	
品質 JIS A 5759による	

6	1. 改修範囲	既存開口壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲 [6.1.3] ※ 壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲 ※ 壁面より奥側 600mm 程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示 天井の撤去に伴う取り合い部の壁面の改修 ※ 既存のまま ・図示 ビニル床シート等の除去 ※ 仕上げ材のみ (接着剤とも) ・ 機械的除去工法 ・ 図示の範囲 ・ 撤去範囲全て [6.2.2]	6	内装改修工事
		合形成材の除去工法 ・ 目視し工法 コンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、4層外壁改修工事による。 改修後の床の清掃範囲 ※ 図示 開口壁撤去に伴う他の構造体の補修 [6.3.2] ※ 改修標準仕様書表4.4.9によるモルタル塗り (塗り厚 25mm を超える場合の補強 ※図示) [6.5.1][表6.5.1][表6.5.2]		
7	2. 既存床の撤去、下地補修	種類(機械加工) 適用箇所 種別(手加工) 適用箇所	6	内装改修工事
		・A種 ・B種 ・C種		
8	3. 既存壁の撤去、及び下地補修	ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 「製材の日本農林規格」による製材 ・下地用針葉樹製材 [6.5.2]	6	内装改修工事
		施工箇所 樹種 寸法(mm) 等級 形状 材面の品質 保存処理 含水率		
9	4. 木下地等の表面仕上げ	間伐材等の適用 ・ [6.5.1][表6.5.1][表6.5.2]	6	内装改修工事
		種別(機械加工) 適用箇所 種別(手加工) 適用箇所		
10	5. 製材 [G]	ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 「製材の日本農林規格」による製材 ・下地用針葉樹製材 [6.5.2]	6	内装改修工事
		施工箇所 樹種 寸法(mm) 等級 形状 材面の品質 保存処理 含水率		
11	6. 造作用集成材 [G]	間伐材等の適用 ・ [6.5.2]	6	内装改修工事
		施工箇所 樹種 寸法(mm) 等級 形状 材面の品質 保存処理 含水率		
12	7. 造作用集成材	間伐材等の適用 ・ [6.5.2]	6	内装改修工事
		施工箇所 樹種 寸法(mm) 等級 形状 材面の品質 保存処理 含水率		
13	8. 床張り用合板等	ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 「製材の日本農林規格」による製材 [6.5.2]	6	内装改修工事
		施工箇所 樹種 寸法(mm) 等級 形状 材面の品質 保存処理 含水率		
14	9. 接合剤	ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 [6.5.3~4][6.8.2][6.9.3][6.11.4~5] 接合剤は可塑剤(揮発性の可塑剤を除く)が添付されていないものとする。揮発性のものとする。 ホルムアルデヒド放散量 ※ 規制対象外 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合の接合剤の種類 ・ 図示	6	内装改修工事
		施工箇所 樹種 寸法(mm) 等級 形状 材面の品質 保存処理 含水率		
15	10. 防霉、防蟻処理	防霉、防蟻処理が必要な樹種による製材 [6.5.5] 適用部位: ( ) ・ 薬剤の加圧注入による防霉・防蟻処理 適用部位 [6.5.5] 保存処理能区分 ・ K2 ・ K3 ・ K4 ・ K2 ・ K3 ・ K4 ・ K2 ・ K3 ・ K4	6	内装改修工事
		施工箇所 樹種 寸法(mm) 等級 形状 材面の品質 保存処理 含水率		
16	11. 薬剤の塗布による防霉・防蟻処理	ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 [6.5.5] 適用部位: ( ) ・ 薬剤の塗布による防霉・防蟻処理 適用部位 [6.5.5] 処理の方法 薬剤の種類 ※ 改修標準仕様書表6.5.5(1)(b)②ア～エによる ※JIS K 1571に適合又は同等品	6	内装改修工事
		施工箇所 樹種 寸法(mm) 等級 形状 材面の品質 保存処理 含水率		
17	12. 薬剤の接合剤への混入による防霉・防蟻処理	ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 [6.5.5] 適用部位: ( )	6	内装改修工事
		施工箇所 樹種 寸法(mm) 等級 形状 材面の品質 保存処理 含水率		

6-2	7. 造作用集成材	ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 [6.5.2] 「製材の日本農林規格」による製材	6-2	内装改修工事
		施工箇所 厚さ(mm) 表面の化粧加工 防虫処理 間伐材等の適用		
7	8. 床張り用合板等	ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 [6.5.2] 「製材の日本農林規格」による製材	6	内装改修工事
		施工箇所 厚さ(mm) 表面の化粧加工 含水率 防虫処理 間伐材等の適用		
8	9. 接合剤	ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 [6.5.3~4][6.8.2][6.9.3][6.11.4~5] 接合剤は可塑剤(揮発性の可塑剤を除く)が添付されていないものとする。揮発性のものとする。 ホルムアルデヒド放散量 ※ 規制対象外 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合の接合剤の種類 ・ 図示	6	内装改修工事
		施工箇所 厚さ(mm) 表面の化粧加工 含水率 防虫処理 間伐材等の適用		
9	10. 防霉、防蟻処理	防霉、防蟻処理が必要な樹種による製材 [6.5.5] 適用部位: ( ) ・ 薬剤の加圧注入による防霉・防蟻処理 適用部位 [6.5.5] 保存処理能区分 ・ K2 ・ K3 ・ K4 ・ K2 ・ K3 ・ K4 ・ K2 ・ K3 ・ K4	6	内装改修工事
		施工箇所 厚さ(mm) 表面の化粧加工 含水率 防虫処理 間伐材等の適用		
10	11. 薬剤の塗布による防霉・防蟻処理	ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 [6.5.5] 適用部位: ( ) ・ 薬剤の塗布による防霉・防蟻処理 適用部位 [6.5.5] 処理の方法 薬剤の種類 ※ 改修標準仕様書表6.5.5(1)(b)②ア～エによる ※JIS K 1571に適合又は同等品	6	内装改修工事
		施工箇所 厚さ(mm) 表面の化粧加工 含水率 防虫処理 間伐材等の適用		
11	12. 薬剤の接合剤への混入による防霉・防蟻処理	ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 [6.5.5] 適用部位: ( )	6	内装改修工事
		施工箇所 厚さ(mm) 表面の化粧加工 含水率 防虫処理 間伐材等の適用		



施工調査

石綿含有建材の事前調査
工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等によって石綿を含有している吹き付け材、成形板、建築材料等の使用の有無について調査する。
調査範囲
貸与資料
分析による石綿含有建材の調査
分析対象
分析対象
分析対象

Table with columns: 材料名, 定性分析, 定量分析

サンプル数 1箇所あたり3サンプル
採取箇所

石綿粉じん濃度測定
適用する
適用しない
測定時期、場所及び測定点

Table with columns: 測定名称, 測定時期, 測定場所, 測定点

測定方法

Table with columns: 測定名称, 測定方法

石綿含有建材の処理

石綿含有吹き付け材の除去
除去対象範囲
除去方法
除去した石綿含有吹き付け材等の飛散防止処置
石綿含有保温材の除去
除去対象範囲
除去方法
除去した石綿含有保温材等の飛散防止処置
石綿含有成形板の除去
除去対象範囲
除去した石綿含有成形板の処分
石綿含有せつこうボード
石綿含有せつこうボードを除く石綿含有成形板
石綿含有建材除去後の仕上げ工事

改修特記仕様書第3章による

断熱材

Table with columns: 種類, 防火性能, 備考

既存外壁の措置

既存外壁仕上げ材の撤去
下面の清掃
欠損部の改修工法

工法
不陸等の下地調整
通気層の有無
断熱材の施工
外装材の施工
建築基準法に基づき定まる風圧力の

Table with columns: 種類, 断熱性の区分, 日射取得性・遮へい性による区分, 乾燥気体の種類

フェノールフォーム断熱材又は保温材、接着剤のホルムアルデヒド放散量
断熱材打ち込み工法
種類
厚さ(mm)

Table with columns: 種類, 厚さ(mm)

植栽基盤及び材料
屋上緑化軽重システム
芝及び地被類の樹種並びに種類等
見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等

Table with columns: 項目, 性能

既存舗装の撤去及び再利用
舗装

Table with columns: 種類, 材料, 厚さ(mm)

路床安定処理
路床安定処理の方法
路床安定処理用添加材料
種類
添加量
目標CBRを満足する添加量の確認方法

試験
砂の粒度試験
路床土の支持力比(CBR)試験
現場CBR試験
路床締固め度試験

路盤

Table with columns: 路盤材料, 種類

舗装の構成

開粒度アスファルト混合物等の抽出試験
舗装の平坦性

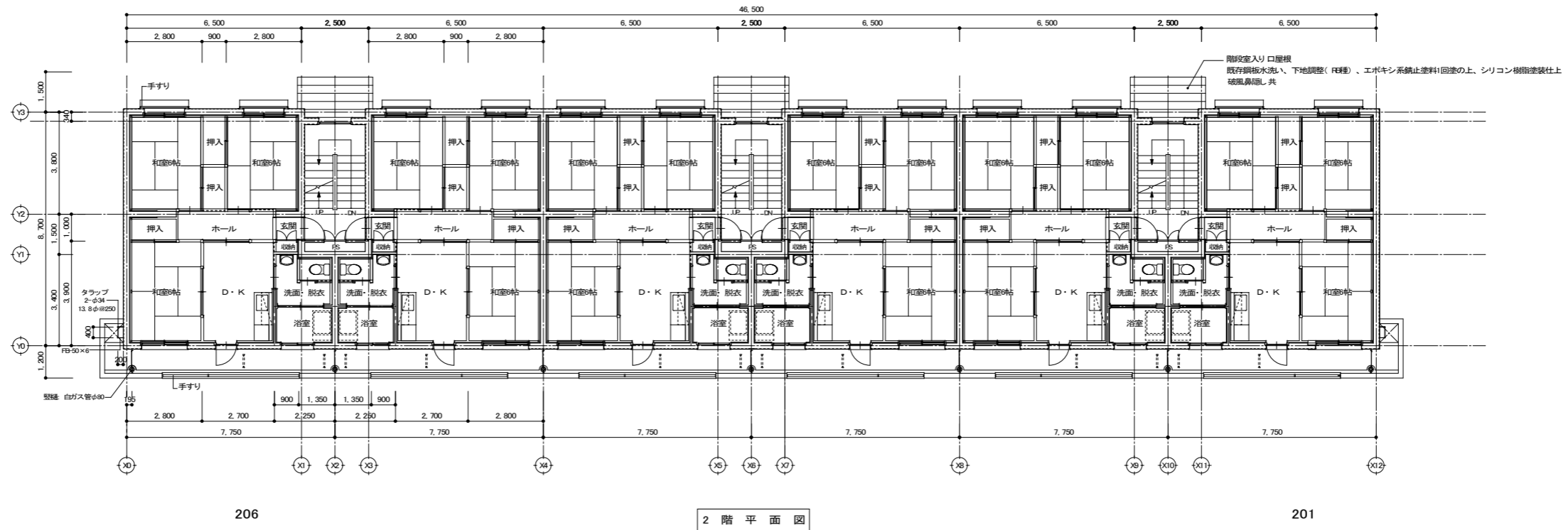
Table with columns: 管理建築士, 承認, 検図, 製図, 改定番号, 改定月日, 改定内容

特記

図面内容
【3号棟】
改修工事特記仕様書-5

Table with columns: 縮尺, 業務番号, 図面区分, 図面番号

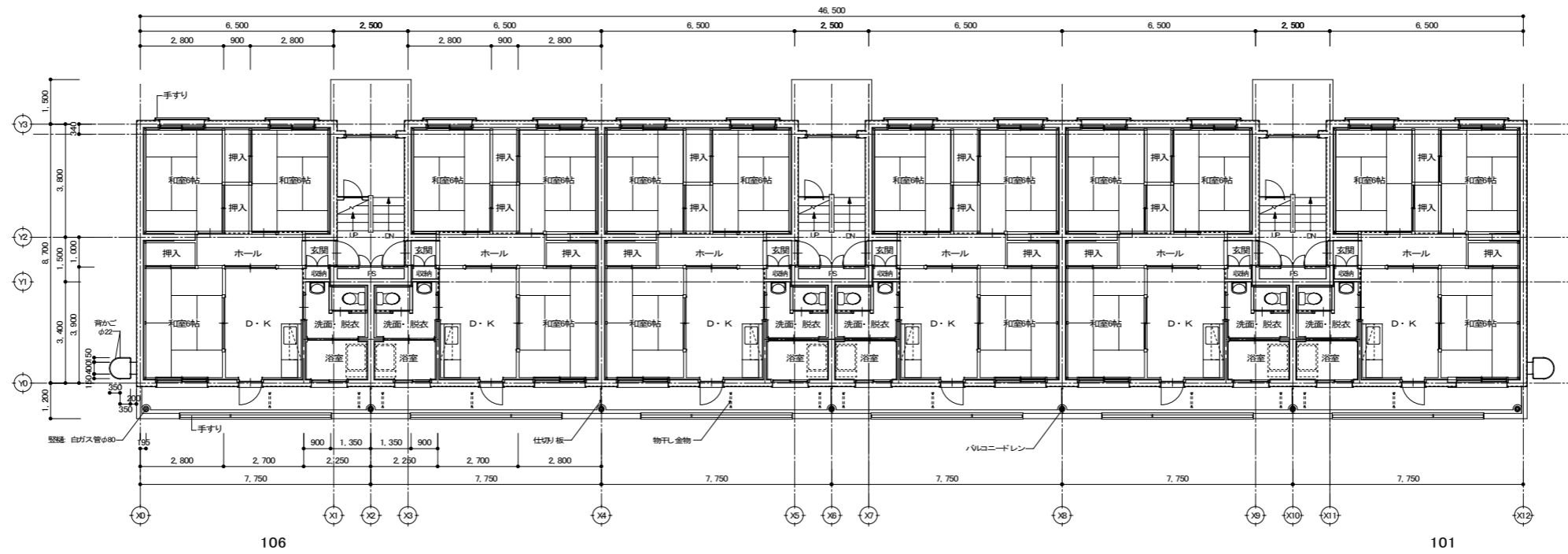




206

2階平面図

201



106

1階平面図

101

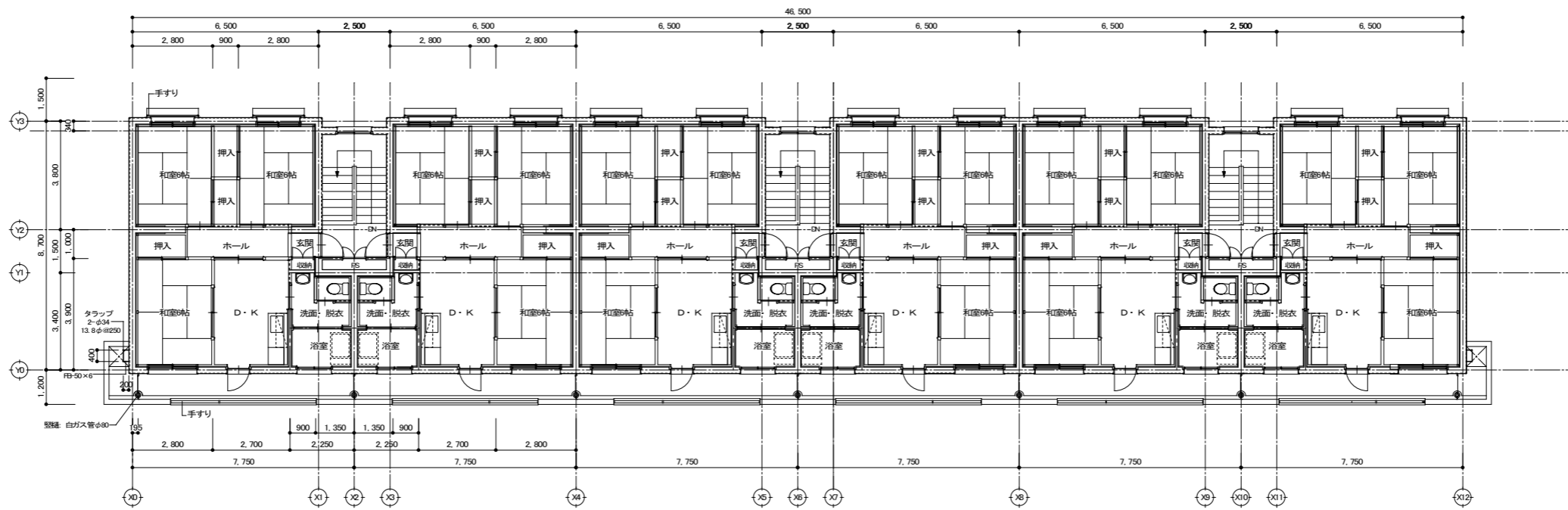
**外壁改修内容**  
 施工数量調査 (全面)  
 サンダー工法による既存塗膜劣化部の除去、(東面以外) 下地処理  
 可とうモルタル欠損部 ポリマーセメント系充填材補修  
 劣化部補修 (亀裂補修、Pコン未補修部補修、爆裂補修、欠損補修)  
 接着塗材E (アクリル系) ゆず肌ローラー塗 (上塗材 水性 ウレタン系 艶あり)  
 打掃目地、応上見切り目地 既存シーリング撤去、ポリウレタン系シーリング (PU-2) 充填  
 開口部廻り既存シーリング撤去、変性シリコン (MS-2) 充填  
 棟番号 水洗い  
 庇 水洗い、既存塗膜の上 ウレタン塗膜防水 (防水層増し塗工法)

**バルコニー改修内容**  
 施工数量調査 (全面)、床 高圧水洗工法による下地処理、劣化部補修 (亀裂・浮き)  
 ウレタン塗膜防水増し2.0 立上りt=1.5  
 手すり壁部 外壁に同じ、既存スチール手すり撤去 (支柱共)、モルタル笠木撤去、補修  
 アルミ製笠木付手すり新設  
 仕切り板 下地調整 (RC種)、つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗  
 鉄部 下地調整 (RB種) 錆止め塗装の上SOP塗  
 物干し金物 既存のまま  
 バルコニーコーン 下地調整の上、ノンタール系変性エポキシ樹脂塗料塗

**手摺・タラップ改修内容**  
 道難用タラップ 下地調整 (RB種)、錆止め塗装の上SOP塗 (背かご共)  
 窓手すり 下地調整 (RB種) 錆止め塗装の上、SOP塗

管理建築士	承認	検印	製図	改定番号	改定月日	改定内容	特記
			設計担当者				

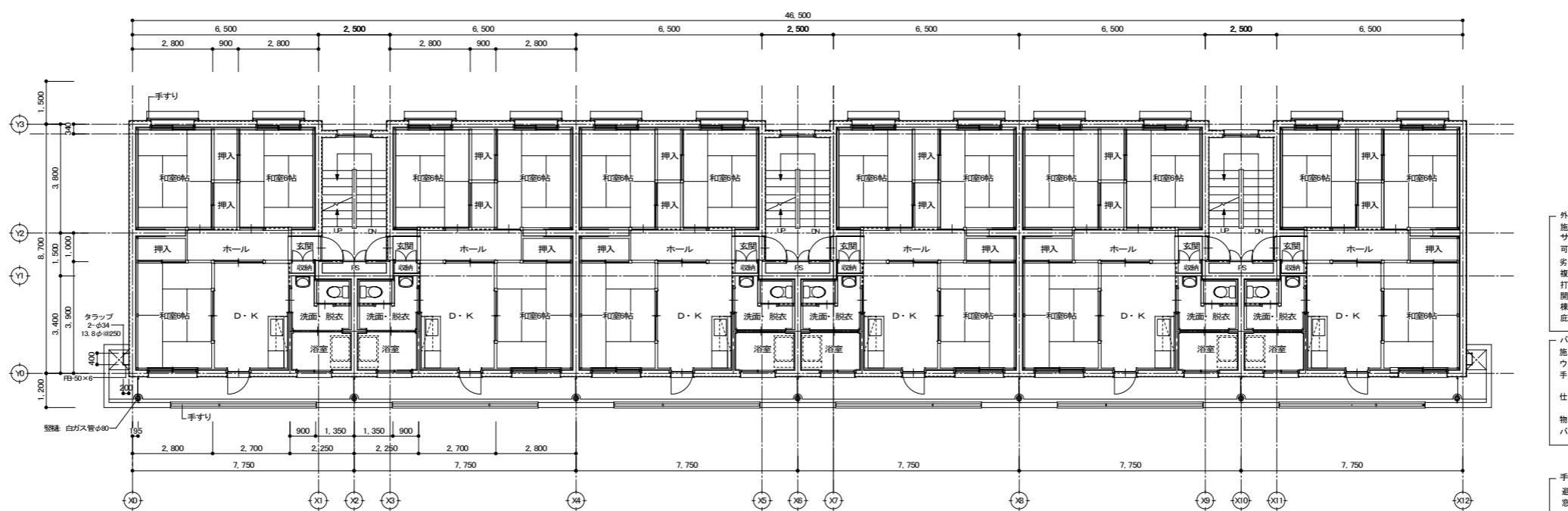
図面内容	縮尺	業務番号
【3号棟】 1階平面図・2階平面図	A1	2222121
	1:100	
	A3	
図面番号	A-13	枚の内 07



406

4階平面図

401



306

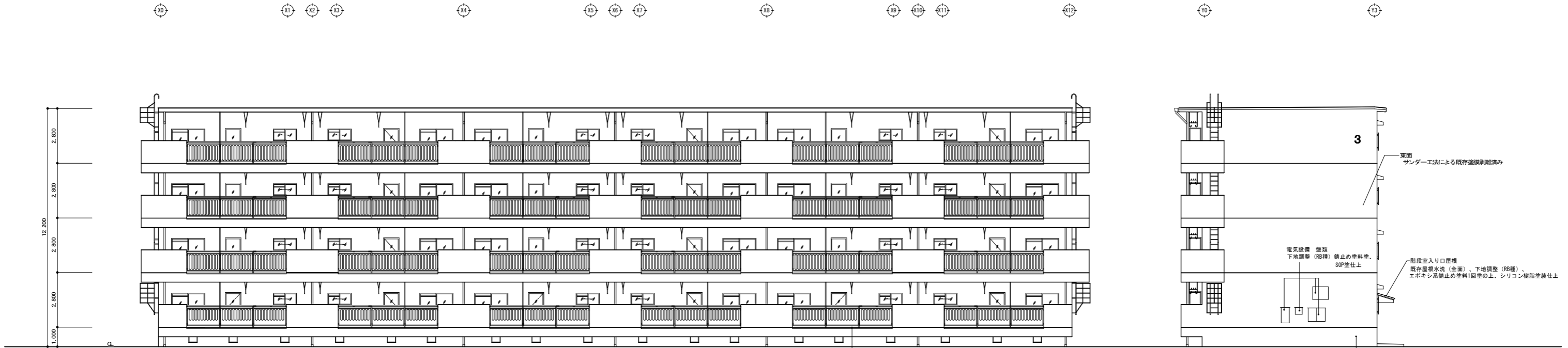
3階平面図

301

- 外壁改修内容**
- 施工数量調査 (全面)
  - サンダー工法による既存塗膜劣化部の除去 (東面以外)、下地処理
  - 可とうモルタル欠損部 ポリマーセメント系充填材補修
  - 劣化部補修 (亀裂補修、Pコン未補修部補修、爆発補修、欠損補修)
  - 換気室材E (アクリル系) ゆず珪ローラー塗 (上塗材 水性 ウレタン系 艶あり)
  - 打掃目地、応上裏切り目地 既存シーリング撤去、ポリウレタン系シーリング (PU-2) 充填
  - 開口部廻り既存シーリング撤去、変性シリコン (MS-2) 充填
  - 棟番号 水洗い
  - 庇 水洗い、既存塗膜の上 ウレタン塗膜防水 (防水層増し塗工法)
- バルコニー改修内容**
- 施工数量調査 (全面)
  - 床 高圧水洗工法による下地処理、劣化部補修 (亀裂・浮き)
  - ウレタン塗膜防水層 t=2.0 立上り t=1.5
  - 手すり壁部 外壁に同じ、既存スチール手すり撤去 (支柱共)、モルタル壁木撤去、補修
  - アルミ製壁木付手すり新設
  - 仕切り板 下地調整 (RC種)、つや有合成樹脂エマルションペイント塗
  - 鉄部 下地調整 (RB種) 錆止め塗装の上SOP塗
  - 物干し金物 既存のまま
  - バルコニードレン 下地調整の上、ノンタル系変性エポキシ樹脂塗料塗
- 手摺・タラップ改修内容**
- 道難用タラップ 下地調整 (RB種)、錆止め塗装の上SOP塗 (背かご共)
  - 窓手すり 下地調整 (RB種) 錆止め塗装の上、SOP塗

管理建築士	承認	検回	製図	改定番号	改定月日	改定内容	特記
		設計担当者					

図面内容	【3号棟】 3階平面図・4階平面図	縮尺 A1 1:100 A3 1:200	業務番号 2222121
		図面区分 建築意匠	
		図面番号 A-13 枚の内	08



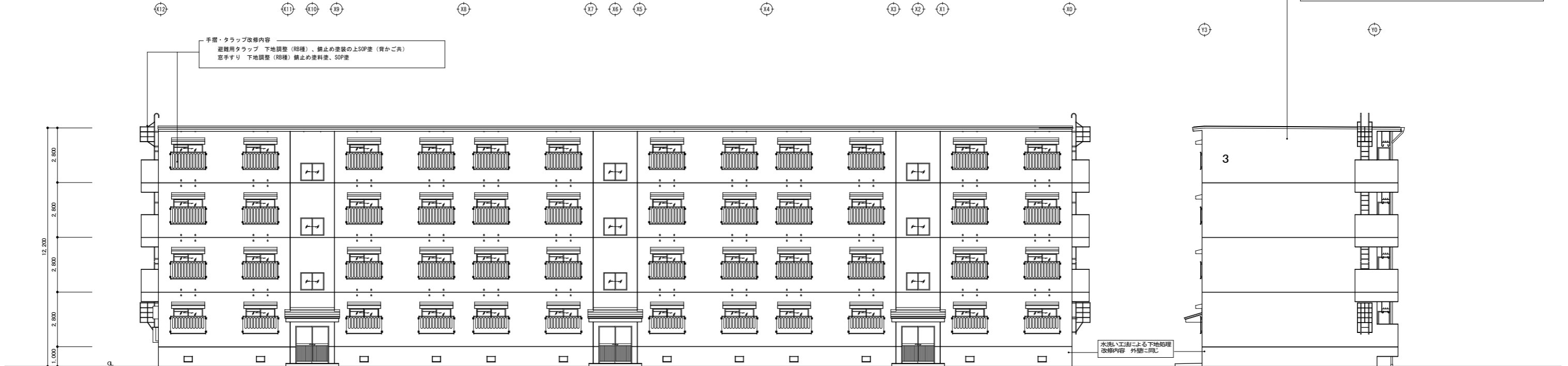
南側立面図

東側立面図

バルコニー改修内容  
 施工数量調査(全面)、床 高圧水洗工法による下地処理、劣化部補修(亀裂・浮き)  
 ウレタン塗膜防水層t=0.5 立上りt=1.5  
 手すり壁部 外壁に同じ、既存スチール手すり撤去(支柱共)、モルタル塗木撤去、補修  
 アルミ製塗木付手すり新設  
 仕切り板 下地調整(RC種)、つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗  
 鉄部 下地調整(RB種)錆止め塗装の上SOP塗  
 物干し金物 既存のまま  
 バルコニードレン 下地調整の上、ノンタル系変性エポキシ樹脂塗料塗

外壁改修内容  
 施工数量調査(全面)  
 サンダー工法による既存塗膜劣化部の除去(東面以外)、下地処理  
 可とうモルタル欠損部 ポリマーセメント系充填材補修  
 劣化部補修(亀裂補修、PCコン未修部補修、爆裂補修、欠損補修)  
 複層塗材E(アクリル系)ゆず肌ローラー塗(上塗材 水性、ウレタン系 艶あり)  
 打掃目地、応上見切り目地 既存シーリング撤去、ポリウレタン系シーリング(PU-2)充填  
 開口部廻り既存シーリング撤去、変性シリコン(NS-2)充填  
 棟番号 水洗い  
 庇 水洗い、既存塗膜の上 ウレタン塗膜防水(防水層増し塗工法)

手摺・タラップ改修内容  
 避難用タラップ 下地調整(RB種)、錆止めの塗装の上SOP塗(背かご共)  
 窓手すり 下地調整(RB種)錆止めの塗料塗、SOP塗

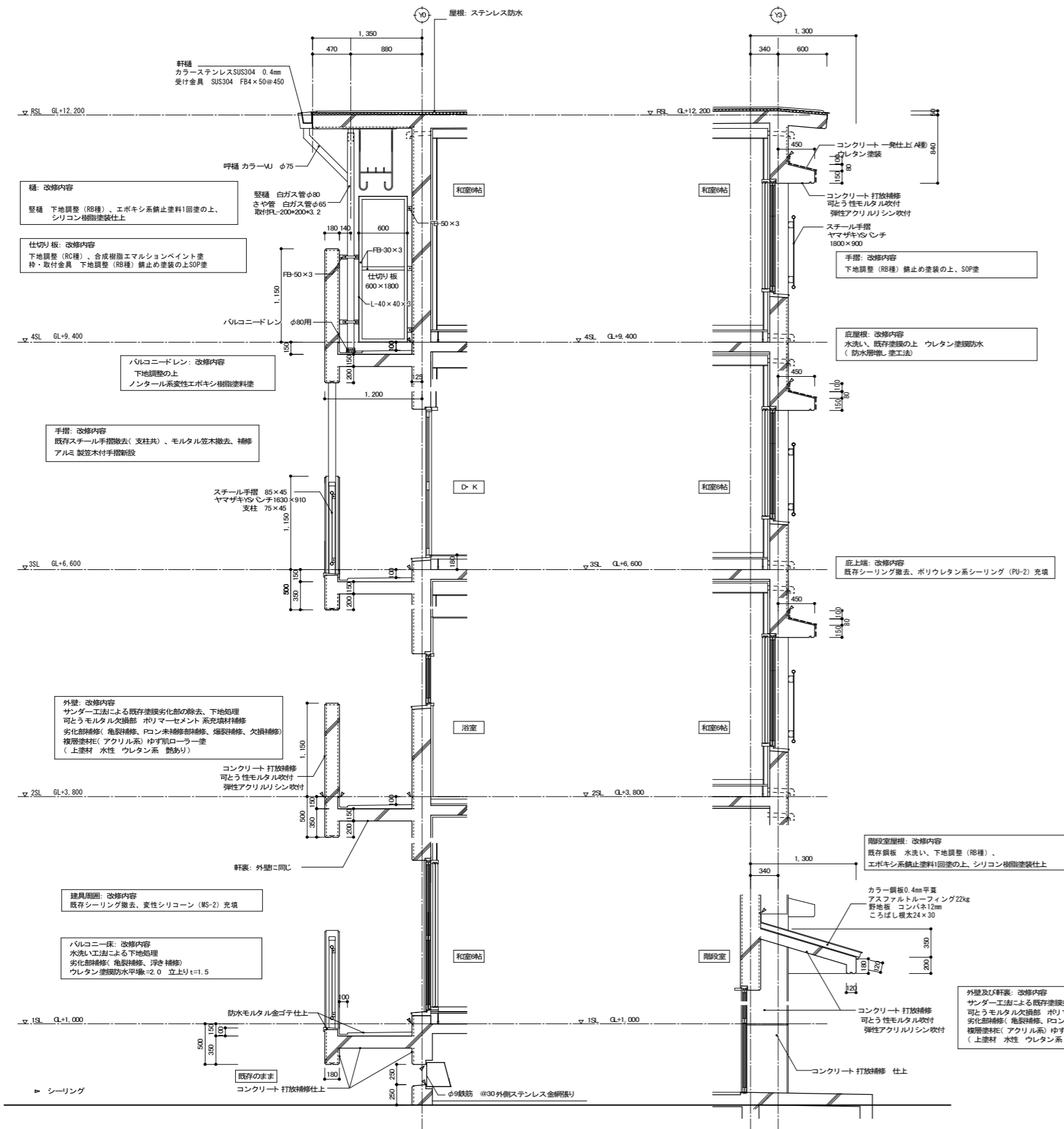


北側立面図

西側立面図

市営西ヶ丘団地住宅3号棟外壁改修工事

管理建築士	承認	検図	製図	改定番号	改定月日	改定内容	特記	図面内容	縮尺	業務番号
		設計担当者						【3号棟】 立面図	A1 1:100 A3 1:200	2222121
									図面区分	建築意匠
									図面番号	A-13 枚の内 09

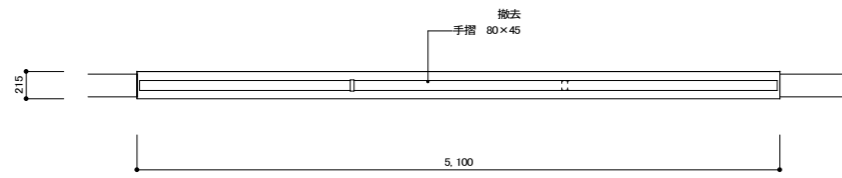


	改修前	改修後
屋根	カラーステンレス防水L=0.4mm SUS304 アスファルトルーフィング22kg スタイロフォームt=25mm貼付 コンクリート金ゴテ押え 階段室入り口屋根 カラー鋼板0.4mm平葉 アスファルトルーフィング22kg下葉	階段室屋根 既存屋根水洗(全面)、下地調整(RB種)、エポキシ系錆止め塗料1回塗の上、シリコン樹脂塗料仕上げ 外壁と同じ
軒天井	コンクリート打放補修 可とう性モルタル吹付 弾性アクリルリシン吹付仕上げ	換気パイプ 既存のまま
外壁	コンクリート打放補修 可とう性モルタル吹付 弾性アクリルリシン吹付仕上げ 下地調整 エース A-1869 同等品 2ヶ所(両妻壁取付) 庇上端 打放コンクリート仕上げ(A種) 打継目地 20×10	施工数量調査(全面) サンダー工法による既存塗膜劣化部の除去(東面以外)、下地調整 可とうモルタル欠損部 ポリマーセメント系充填材補修(エスケー化研ミラクファントHD-4000同等品) 劣化部補修(亀裂補修、Fコン未補修部補修、爆裂補修、欠損補修) 複層塗料E(アクリル系)ゆず肌ローラー塗 (上塗材 水性 ウレタン系 艶あり) 打継目地、庇上見切り目地 既存シーリング撤去、ポリウレタン系シーリング(PU-2)充填 種番号 水洗い 庇 水洗い、既存塗膜の上 ウレタン塗膜防水(防水層増し塗工法)
雨樋	軒樋 カラーSUS304 0.4mm加工 120×120角 樋受け @450 呼び樋 カラーMJ φ75 縦樋 白ガス管φ80 取付FL-200×200×3.2	縦樋 下地調整(RB種)、エポキシ系錆止め塗料1回塗の上、シリコン樹脂塗料仕上げ バルコニードレン 下地調整の上、ノンタル系変性エポキシ樹脂塗料塗
基礎廻り	コンクリート打放補修 床下換気口 スチール加工 F.E.P-B種 H300×W450 L=40×40×3 格子φ9@30 中仕切部分 開口部のみ 300×450 @2700 ネズミ返し PL-1.6mm加工 外側ステンレス網張り	北面、東西面 施工数量調査(全面) 水洗い工法による既存塗膜劣化部の除去、下地処理 劣化補修、仕上 外壁と同じ
建具	玄関 スチールプレシア OP(2)BLスチールドアⅡ型同等品 アルミサッシ アルミドア (BL認定品) 開口部廻り 樹脂系コーキング(10×10) PS スチールプレシア OP(2)	玄関 既存のまま アルミサッシ、アルミドア 既存のまま 開口部廻り 既存シーリング撤去、変性シリコーン(MS-2)10×10 充填 PS 既存のまま
バルコニー	床 ラス下地防水モルタル金ゴテ 排水溝 幅100mm 巾木 同上 笠木 コンクリート金ゴテ仕上げ 手すり 打放 弾性リシン吹付 スチール製手すり BL認定品 仕切り板 大平板5mmVP(2) 枠 L=40×40×3 誘導標示板付 物干金物 400×780 新値和 SK-4078AM同等品	施工数量調査(全面)、床 高圧水洗工法による下地処理、劣化部補修 ウレタン塗膜防水平場t=2.0 立上りt=1.5 手すり壁面 外壁と同じ、既存スチール手すり撤去(支柱共)、モルタル笠木撤去、補修 アルミ製笠木付手すり新設(三洋工業トップレベル60A同等品) 仕切り板 下地調整(RB種) 錆止め塗料の上SOP塗 鉄部 下地調整(RB種) 錆止め塗料の上SOP塗 物干し金物 既存のまま
断熱材	1階床下 グラスウール50mm敷き込み 外壁面 スタイロフォーム 25mm打ち込み 最上階スラブ下 スタイロフォーム25mm打ち込み	既存のまま
その他	郵便箱 BL集合郵便受けⅡ型 連絡板 H410×W720 避難用タラップ 幅400 バイφ34 床下天井裏換気パイプ φ50 エルボ 防虫網付(協和SLP54型同等品) 室名札 新値和 KS-NZA型同等品 窓手すり スチール製窓用手すり 900×1700 BL認定品(ヨド同等品)	郵便箱 既存のまま 避難用タラップ 下地調整(RB種)、錆止め塗料の上SOP塗(背かご共) 床下天井裏換気パイプ 既存のまま 室名札 既存のまま 窓手すり 下地調整(RB種) 錆止め塗料の上SOP塗 BSテレビアンテナ 再取り付け 電気設備 下地調整(RB種) 錆止め塗料の上、SOP塗仕上げ

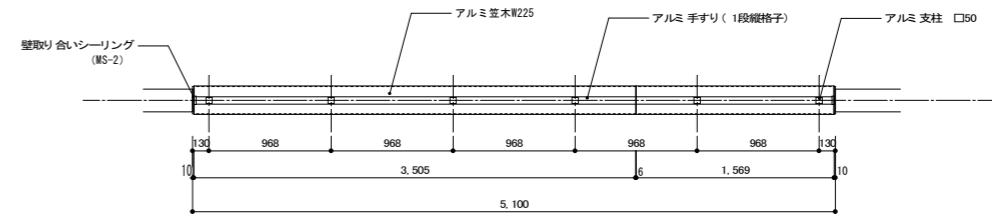
断面詳細図 S=1:30

市営西ヶ丘団地住宅3号棟外壁改修工事

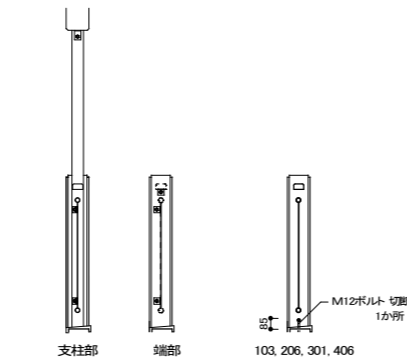
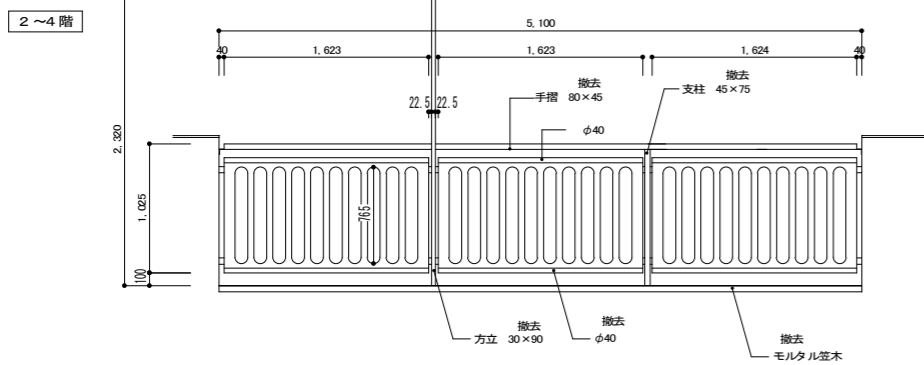
管理建築士	承認	検図	製図	改定番号	改定月日	改定内容	特記	図面内容	縮尺	業務番号
		設計担当						【3号棟】 外部仕上表・断面詳細図	A1 1:30 A3 1:60	2222121
								図面区分		建築意匠
								図面番号		A-13 枚の内 10



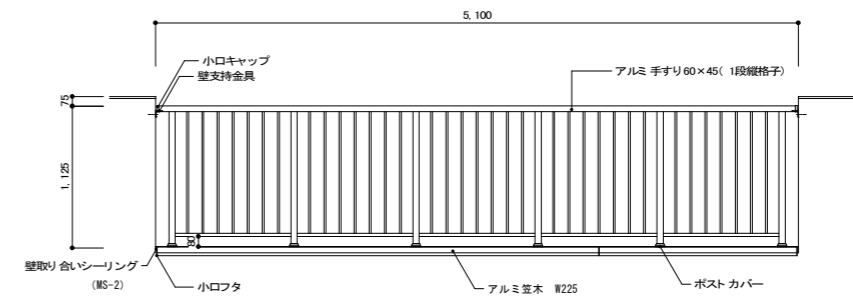
既存バルコニー手摺平面図 S=1:30



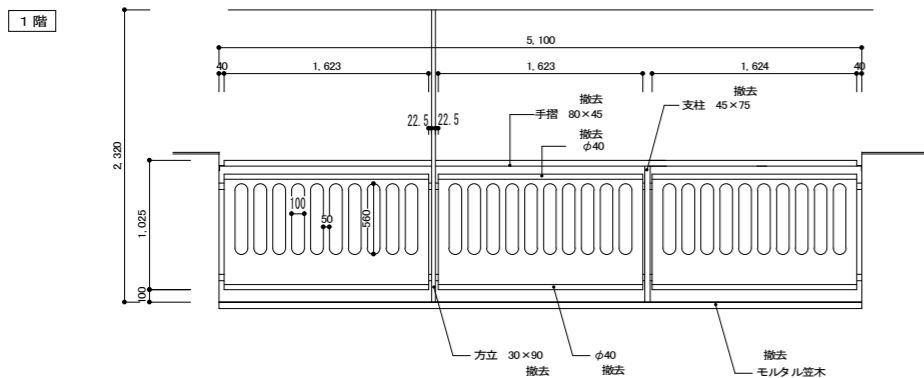
新設バルコニー手摺平面図 S=1:30



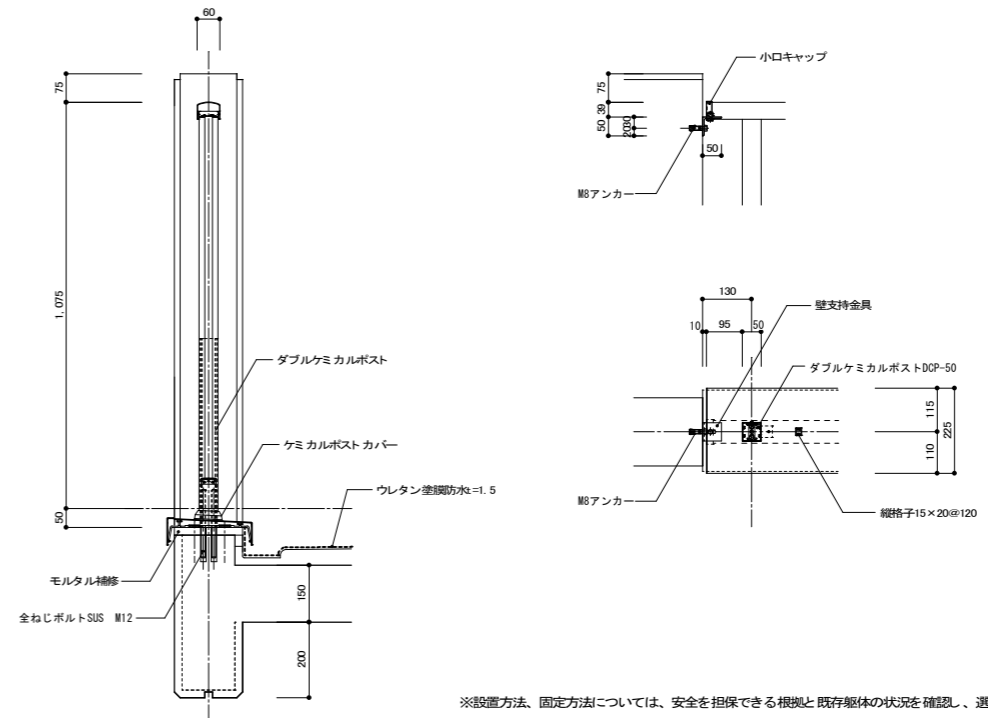
既存バルコニー手摺断面図 S=1:30



新設バルコニー手摺立面図 S=1:30



既存バルコニー手摺立面図 S=1:30



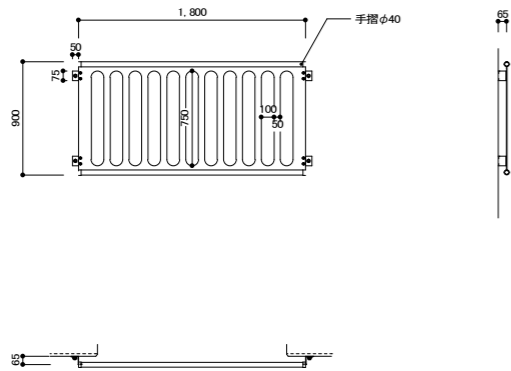
※設置方法、固定方法については、安全を担保できる根拠と既存躯体の状況を確認し、選定すること。

新設バルコニー手摺詳細図 S=1:10

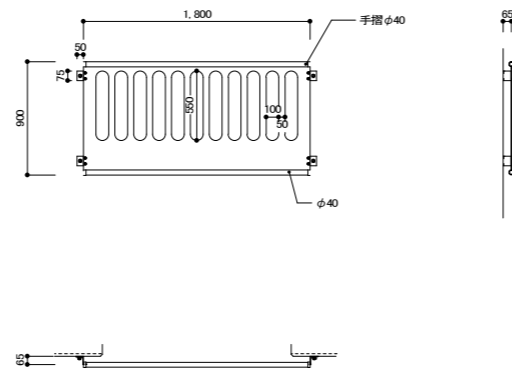
アルミ笠木付手摺(三洋工業トップレール60A 同等品)

管理建築士	承認	検図	製図	改定番号	改定月日	改定内容	特記
		設計担当者					

図面内容	縮尺	業務番号
【3号棟】 バルコニー手摺改修詳細図	A1	2222121
	1:30, 1:10	図面区分 建築意匠
	A3	図面番号 A-13 枚の内 11
	1:60, 1:20	

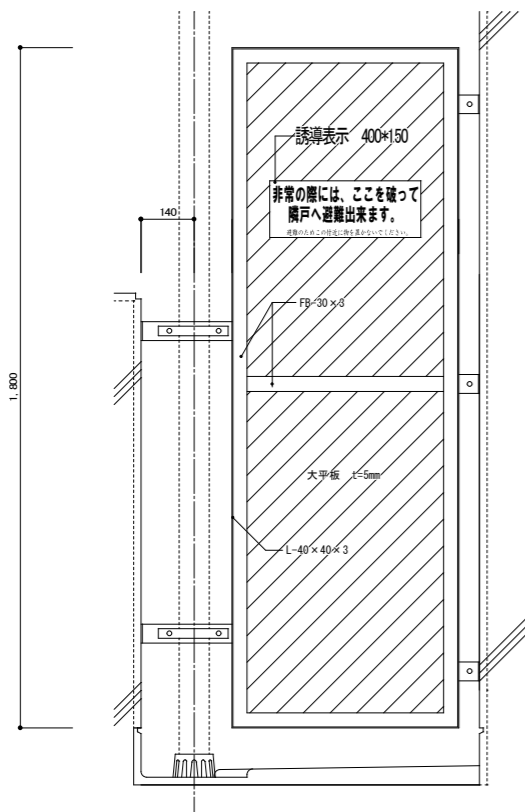


2階～4階窓手摺詳細図 S=1: 30

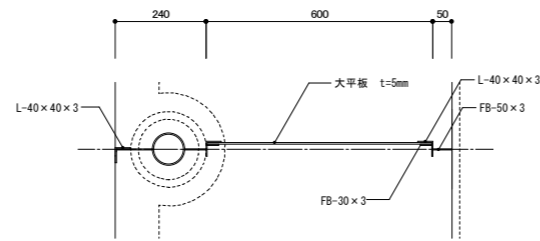


1階窓手摺詳細図 S=1: 30

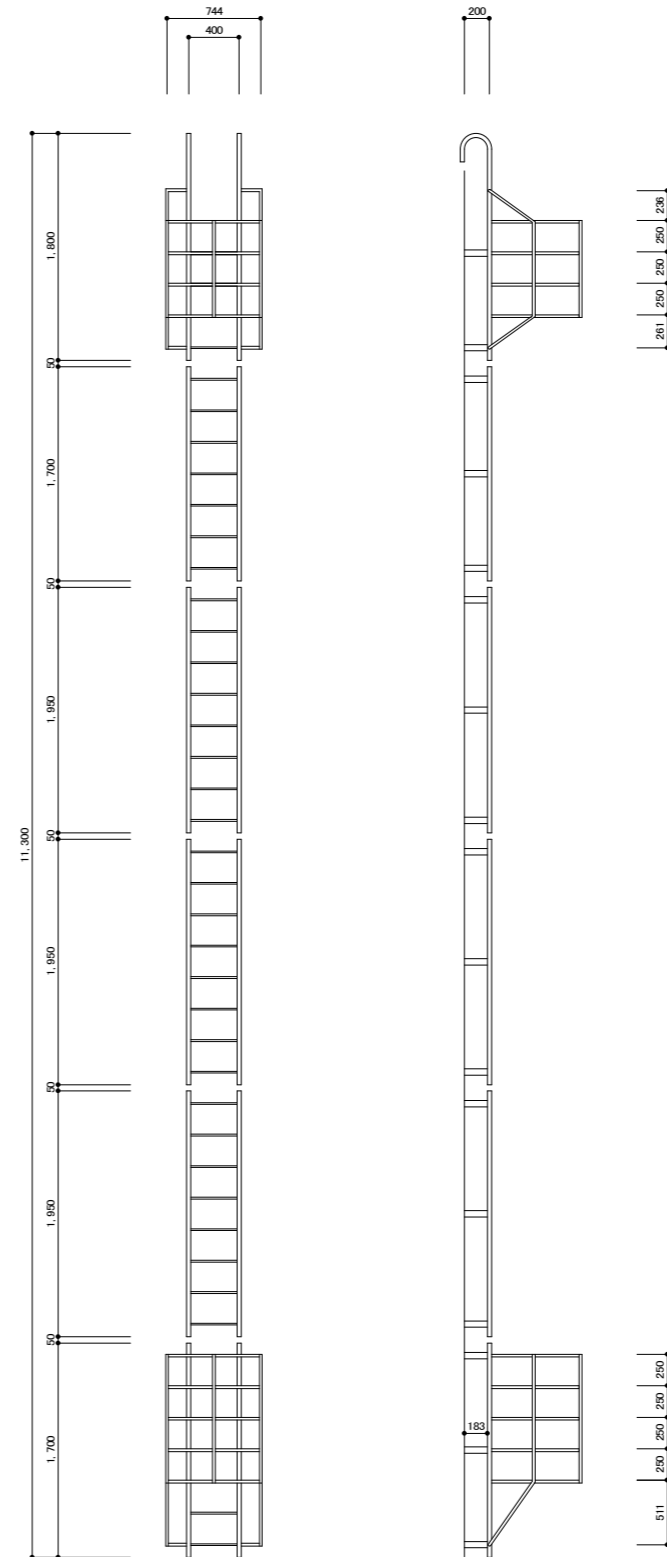
※撤去、復旧に際して、手すり・固定ボルト共に現状位置に設置すること。



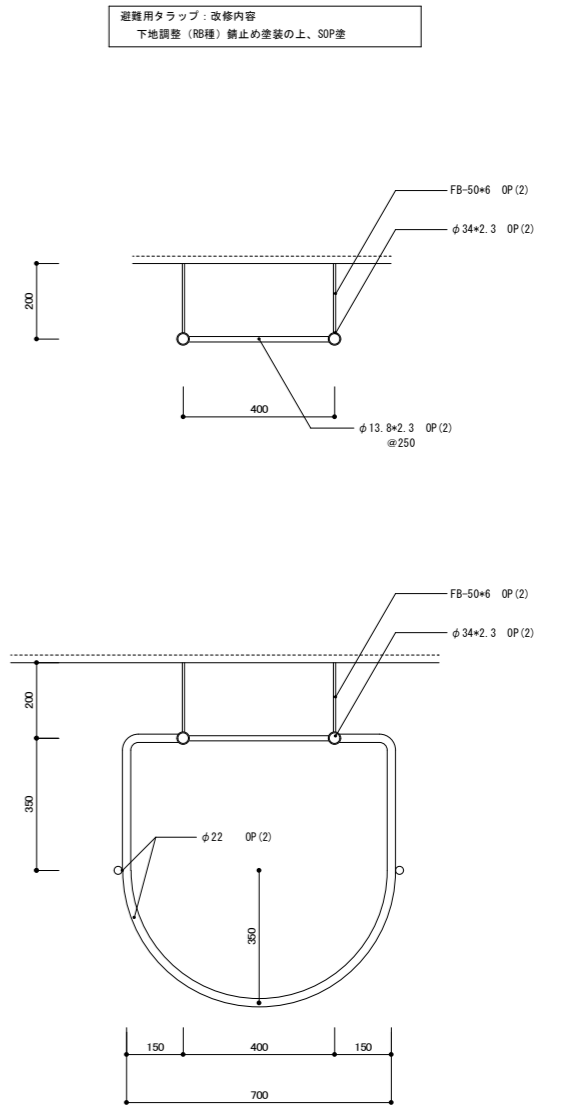
仕切り板詳細図 S=1: 10



仕切り板：改修内容  
大平板：下地調整（RB種）、合成樹脂エマルジョンペイント塗  
替・取付金具：下地調整（RB種）錆止め塗装の上SOP塗  
誘導表示：アルミ箔ステッカー-t=0.24mm張り（両面）



タラップ正面図・側面図 S=1: 30



背かご・タラップ詳細図 S=1: 10

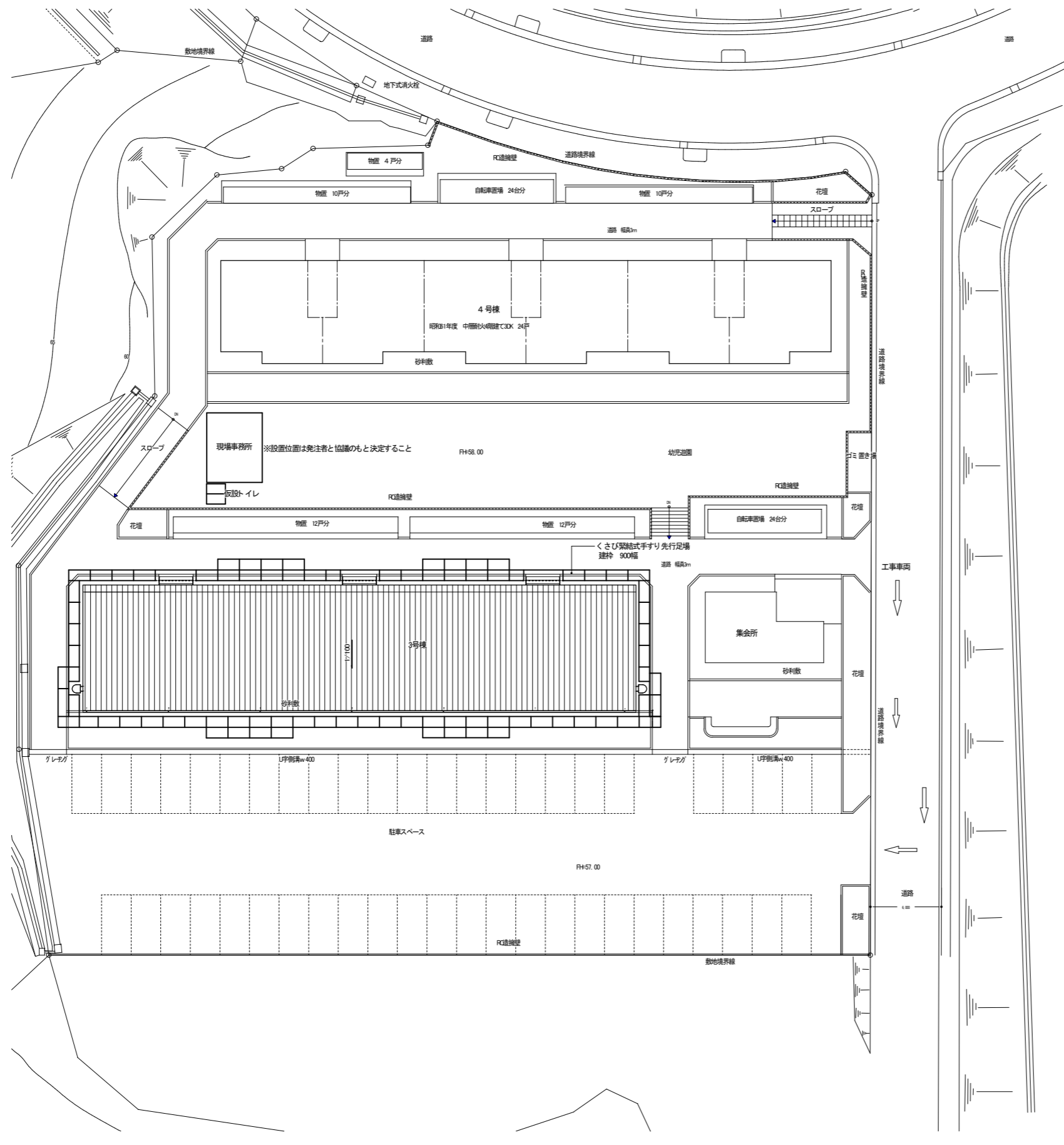
管理建築士	承認	検図	製図	改定番号	改定月日	改定内容
		設計担当者				

特記

図面内容  
【3号棟】

雑詳細図

縮尺	業務番号
A1	2222121
1:30, 1:10	図面区分 建築意匠
A3	図面番号 A-13 枚の内 12
1:60, 1:20	



- 一般事項
- ・安全対策については、現場の状況に応じた適切な方法をとること。
  - ・工事施工に使用した進入通路、資材置き場等の作業所内は現況に復旧すること。
  - ・本工事により破損を生じた箇所は現況に復旧すること。
- 特記事項
- ・本工事は居住しながら行う工事のため、入居者には細心の注意を払って工事を行う事。
  - ・施工者は、腕章、ヘルメット、名札等を着用し、工事施工者であることを明確にすること。
  - ・日常生活等、利用上支障なき様十分に配慮した仮設計画とし、施設管理者及び監督員と協議の上、施工を行う事。
  - ・工事に伴い騒音・振動が発生する作業は時間的制約があるため、施設管理者と十分協議の上施工すること。
  - ・足場内への工事関係者以外の立ち入りを防止する措置をとること。
  - ・資材搬入等により施設内を通行する場合は養生及び安全対策を講じること。
  - ・工事車両が駐車場を通行する際は最終行進線を行い、施設利用者の安全に配慮すること。
  - ・建物の出入りとなる通行動線については、居住者の通行に支障のないように通路を確保するとともに、養生シートの巻き上げ等を行い、動線部への落下物、粉塵等の進入を防止すること。

市営西ヶ丘団地住宅3号棟外壁改修工事

管理建築士	承認	検図	製図	改定番号	改定月日	改定内容
		設計担当者				

特記

- ・同一敷地内で4号棟及び集会所外壁改修工事を行う予定であるため、十分協議の上、入居者の安全に配慮した仮設計画とすること。
- ・足場は設置してあるものを使用することとし、当該設置業者と十分協議の上施工すること。
- ・安全性の確保及び維持管理、足場に係る届出については設置業者と協議の上、受注者が行うこと。

図面内容	縮尺	業務番号
【3号棟】 仮設計画図	A1	222121
	1:200, 1:50	
	A3	
図面番号	A-13	枚の内 13